

以上の商店は相當信用ある店だと思はれるから今後共に輪界各位の奮闘を祈つて筆を留む。

## 中支に於ける玩具

會社 岩田商店 小山 又雄

### 上海に於ける玩具製産状態

事變前上海に於ける玩具の製産状況は微々たるものであつた。其の種類及び工場所在地は大略左の通り。

一、ゴム製玩具（ゴムマリ、ゴム風船等）

一、セルロイド玩具（主にピンボンボール）

之等の工場は主に楊樹浦方面、經營は殆んど支那人にて日本人經營も二、三有り。

一、木製玩具

開北方面の支那人家庭工業として僅かに製産して居たが、品質、値段の點に於て内地製品の比では無く、僅かに命脈を保つて居たに過ぎない。

一、木製玩具ピアノ

之も開北方面支那人工場にて製産して居たが、發音帯は帶鐵使用の所謂チンチンピアノのみにて問題ではない。

右の如き状態であつたが其の製産高は何れも微々たるもので、細かき數字の統計は判明しない。之等玩具の販路は上海及び其附近を中心とし、奥地は蘇州、南京、漢口、或は重慶迄、上海中間業者の手に依り内地よりの輸入品と共に賣捌れて居た。それも事變の結果、工場は全部灰燼に歸し従業者は奥地或は香港へ避難して製産は途絶してしまつた。事變解決後も其の復舊は至難であらう。

### 輸入品の販賣状況

前項の如く玩具の製産僅少の爲、其の大部分は輸入品に依つて居た。昭和五、六年頃迄は排日貨或は我が國玩具業界の不振等の爲、ドイツ製品に其の過半數を占められて居たが、其の後我が國輸出貿易の目覺しい發展と業界の覺醒に依り、地理的優位を利用して逐次ドイツ製品を驅逐し、價格の低廉と品質の優秀は、度々の排日氣勢にも拘らず終に事變直前に於ては壓倒的優勢を示し、上海市場に於ける約八十パーセントは邦品の占めるところとなつた。其の内名古屋製品の木製玩具ベビーピアノ或は布製、紙製玩具等年々増加の一途を辿りつゝ、あつたが、残念乍ら東京製品に比して其の額

は餘りにも貧弱であつた。もとゞ玩具の各國向輸出は其の大部分が年一回のクリスマスを目當てとして行はれるものであつて、其の割合はクリスマスシーズンに於ける需要が七十パーセント、それ以外の期節には一年を通じて三十パーセント位のものであらう。特に上海に於ける名古屋製玩具の消費は大部分クリスマス前の短期間、然かも上海居住の外人向けであつた。上海のバック即ち長江沿岸奥地の支那人向としては一般高級玩具の需要は極く僅少であつた。と言ふのは彼等の文化程度が水準線以下にある事を物語るものであらう。東京製品のゴムマリ（一部大阪にても製造）ゴム製動物、ピンポンボール等は長江沿岸各地からの需要が絶えなかつたのは、之等玩具の用途價格が支那人子供の趣味及び民衆の購買力に適して居たに外ならない。之等の商品は上海居住の邦人卸商の手に依つて上海城内或は南市方面の支那商人の手を経て長江沿岸の各地へ、遠くは重慶迄轉送される。之等商人間の取引條件は三十日乃至五十日の手形が普通である。上海から近距離の地方からは現金仕入に來る地方商人もあつた。此の外大阪居住の華商の手に依り上海華商へ直接賣込まれるものもあつたが、やはり五十日前後の手形に依つてゐる。事變直前迄の之等取引情況は如何であつたかと言ふに、支那全土に亘る農作物の豐作は、一般民衆の購買力を頗る増加し、昨年一月頃より此の影響は取引の上に表はれて、事變直前には其の最高潮にあつたかの感があつた。事變勃發の八

月迄約七ヶ月間に、一昨年一年間の取引高を裕に凌駕せんとしてゐたのである。あ、然し事變は全てを押流してしまつた。前記の全ては過去のものとして現實の上海は今改めて見直さねばならぬ。

### 現實の上海

好況來る！注文殺到、發送、入庫、正に伸びんとした其の時に突發した事變は全てを中斷した。南市域内の華商は全滅、行衛不明となり奥地の交通は途絶した。品代金の受拂ひも停止、ストックは満員、かうしたあらゆる苦痛を脊負つて取り残された邦商は何に依つて生きんとしたか、華商との取引が中絶した今日、生きる道は邦人を相手とするより外はない。即ち其の販路は軍部へ集中された。或者は軍部への食料品納入に轉向し、或は軍人相手の煙草、繪ハガキ等の小賣に力を注ぎ今日に至つてゐる。今年一月より二月中旬頃迄には軍人向の娯樂品需要旺盛となり、花札、トランプ碁、將棋、或は其の他の室内遊戯が可成りの動きを見せたが、之も凱旋部隊の持歸り禁止、或は其の他の關係にて使用を禁止されたものもあり、三月に入つてすっかり賣行き停頓し、大量仕入れを爲した商人は、相當ストックしてゐる情態である。殘された唯一の邦人商店街吳淞路を一巡する時玩具店、文具店、雜貨店を始め食料品店の店頭迄殆んど軒並と言つてい、程トランプ、花札、煙草繪ハガキの陳列してあるのを見る。之等は皆上海駐屯の軍人を目當てとする小賣商の現状である。

此の外兵站部納入の御用商人として活躍しつゝある人達は、南京方面或は杭州方面への輸送にトラックを用ひ、食料品、飲料水等、口銭こそ薄いが可成りの動きを見せ繁忙を極めてゐる。唯トラツクに要する経費の負擔大きく、將來船運に依る可く準備しつゝあるのは注目を要する。何分虹口方面への支那人復歸は未だ許可されず、華商との取引は軍の嚴重なる監督の下に制限されてゐる。現下の狀勢に於ては先づ年内は既述の如き情態が続くと見ねばならぬ。事變前玩具卸を副業に營みつゝ石鹼販賣を本業として居た一邦商の現状は、玩具、化粧石鹼は需要は全然無く、唯洗濯石鹼のみが盛んに支那人方面の需要を受けてゐる。之は事變後疲弊したる支那民衆が全てのものを洗濯石鹼で間に合してゐるのだと言ふ。之も事變が生んだ一つの現象である。

次に英、佛租界の現状はと言ふに、此の方面は流石特殊地帯丈けに戰禍も殆んど無く相當の活況を呈してゐる。英租界南京路に立並ぶデパート先施公司、新々公司、或は永安公司等の娛樂場、其他大世界、新世界、或は各食堂、ダンスホールの雜踏振り繁榮振りを見る時、半年前あの大激戦が僅か數町を離れた場所に於て行はれたとは想像も及ばぬ位だ。然し乍ら事變の影響はさすがに争はれず、デパート各階の賣場、或は生活必需品以外の各商店には客足遠くガランとして寥々たるものである。力ある者は先づ食を求め、心の慰安を求めて、それ以外の事柄には心に向ける丈の餘裕

が無いのだ。力無き者は街頭にさ迷ひ、一錢を乞ひ歩く俄乞食が群を爲して戰敗國民の哀れを止めてゐる。

駐屯軍は別として、上海居留邦人三萬、外人約三萬五千、合して僅々六萬五千に過ぎない。何と言つても戰後の復興建設は支那民衆の回復に待たねばならぬ。其の民衆は先づ食を求めて居る。そして住居を求めてゐる。此の問題が解決して後始めて復興の曙光は見え初めるだらう。

### 中支の將來

經濟調査團一行が歸名後、去る三月廿八日南京に於て維新政府の成立を見、中支に於ける防共親日の基礎は確立した。我が軍部の力に依つて治安は維持され、新政府の手に依つて中支復興の諸政策は逐次施行せられるであらう。斯うした情勢の推移に依つて戰後の復興機運は益々促進され、之に要する諸材料、印ち建築材料、家具類、衣服、或は食料品の商談は今後益々増加するに違ひない。中支に於ける製産諸施設は殆んど灰滅に歸した今日、事變前からの之等ストックも遠からず消費し盡されて、將來其の全てを我が國からの供給に依るであらう事は論を俟たない。其の後に來るものが我々の玩具を始めとして其の他の諸商品であらう。上海に於ける玩具の業者は事變前六、七月に入庫した商品を其の儘ストックしてゐる。浦東の保税倉庫にあつた一部商品は兵火に會つて烏

有に歸したが、大部分は難を免れて現在では業者所有の倉庫内に時期の至るを待つてゐる。考へ様に依つては贅澤品とも見做される玩具ではあるが、子供の無い國は無いと同時に、子供の可愛ゆくない親は無い筈。無邪氣な子供は親の懐具合等無頓着にて要求する。子の爲には無理な要求も甘受するのが親心の常である。不況の中にあつても、生活必需品でも無い玩具が根強く販路を有する所以である。此の意味に於て必ずや今年秋のクリスマスシーズンから商談の成立を見始め、來年春頃には上海に於けるストック品の整理を終つて内地からの進出を見始めるであらうと豫想してゐる。思ふに我が國産玩具の世界的進出は此所四、五年來驚く可き躍進を遂げ、價格の低廉と、品質の優秀を以て世界市場獨占の觀ありしドイツ品に挑戦して廣く販路を擴張し、現在では近くは滿、支、南洋、印度、濠洲、遠くは南北アメリカ、歐洲、アフリカと世界の隅々迄市場を有してゐる。元々玩具の需要は文化の高き地方程旺盛である。アメリカ合衆國及び歐洲各國が輸出玩具の最も大きな消費場であることは、之を裏書するものと言へよう。隣國支那に於ける從來の玩具の需要は排日政策にも起因して、其の人口の莫大なるにも拘らず僅少であつた。然し今後親日政策と、文化の開発に依つて眠れる獅子支那が目覺めた時、廣大なる國土と四億の民を擁する親日支那が、やがてはアメリカ合衆國、歐洲にも匹敵す可きメイドインニッポンの大市場たる事は想像に難くない。唯我々

業者が自覺す可き事は、事變後に於ける對支進出が掛つて、我々銃後國民の努力如何にある事である。過去に於て繰り返した無用の競争、亂賣、そして必然的に來る品質の低下、信用の失墜、之等は大いに戒む可きである、そして平和の戦争、經濟戰に於ても長期戰の腹を据え、急がず焦らず、目標を遠き將來に置いて新事態に處す可きである。最後に當つて中支戰跡を目のあたり見、其の防備の嚴重と、自然の難關とに拘らず短時日の間に斯くも迅速に局面の進展を見たる事は我が皇軍將士の勇猛果敢なる御奮戰と御勞苦の程が忍ばれて感激を新たにし、内地銃後の我々は今後益々緊張して、出征將士に劣らず長期戰に備へて努力せねばならぬ事を痛感したのである。(終り)

## 名古屋港と中支の貿易

株式  
會社  
蜂谷兄弟商會

齋

藤

幸

名古屋と中支の貿易は矢張輸出も輸入も阪神經由が多い爲め精確な數字は判明せざるも、名古屋港を通過したる分は左表の通りである、上海の日本郵船支店長の話によれば十年前には名古屋よりは時計と陶磁器丈で、而も金額は少々であつたが近年著しく増加し

昭和十一年度名古屋港より輸入量

三、〇〇〇噸

昭和十二年七月迄

三、〇〇〇噸

であり、約半年で十一年度の數量を突破した事變がなかつたら多分十一年度の倍額に昇たであろう

日本より總輸入に對する比率は一昨年

五・四%

昨年

六・三%

(七月迄)

とある、躍進率は多いが阪神に比して總額より見て未だ大分少い、大に研究の餘地ある故盡力せられ度いとのことである。

全く全國的に見ては振はない其理由は

阪神の輸出商又は支那商館經由で取引する方が安心、便利である。

船便が少く名古屋港積の條件で買ふ時は到着日が阪神に比して非常に遅れ、急ぎの注文分は當てにすることが出来ぬ。

名古屋方面の輸出商の活動が支那貿易には本腰が入てゐない。

右三大理由は今次事變以來雄辯に其點を明とした、即長崎地方、阪神方面の業者は事變突發と雖も斷然砲火の巷を潜つて食糧、軍用雜貨、建設材料の供給に努力して皇軍の活動に多大の働をなした、勿論平素よりの訓練もよく連絡もよく、特に船便は名古屋方面よりは皆無の状態であつたが、

遇々上海の業者より注文を出しても全々無關心同様で甚不勉強である、と同地での不評は相當なものである。

長崎、阪神方面の業者は勿論、多大の利益を得たことは當然で、況や上海に店舗を持た人の儲は成金續出と稱されて居るに於てをや、今からでも遅くはない是非進出を望む。

名古屋より直接進出の促進に就ては從來度々見本市、視察團等にて奨勵努力せられたが其都度相當の効果はあるが、如何も賣買双方の熱意が足らず永續性がなく、結局苦情の煩に不耐、代金決済の不圓滑に失望して阪神の業者又は支那人商館に便る傾となるのである。

此欠點を除去するには、よく訓練せる店員を常駐せしめるか出張所支店を設置し本腰を入れるが第一である。

其他は代金決済の便、不安除去を計るが必要である、上海の商社でも名古屋業者の積極的進出を希望し居る先も相當ある。

尙契約商品の品質、受渡期日の正確、取引先との徳義節操(諒解を無視せる振賣り主義)を守ること、照會等に對する應答の敏活、商品の研究欠如等名古屋方面業者に對する希望、注意の數々は只體面上の問題計りでなく商人、經濟人の損得問題で、之等が十分實踐し不得して貿易業は經營し

不得譯なり、甚不名譽の話なれ共是非傳へよとの現地の御話を傳へて其責を果す次第なり。

一方輸入品も雜穀、油脂原料、麻、油粕、漆、繭、其他重要なる原料品が多數あるも阪神の市場性が直輸入の不利不便を來し居るも、是亦出張所設置等により根本的研究して直接輸入を計れば商品によりては相當の仕事になると信ずる。

從來名古屋地方では二、三の事業的進出者はあるも、貿易業者として上海方面に支店出張所を持つて進出し居る店は殆なしとも云ひ得る程にて甚心細い次第、此際有望第一の感ある上海への進出を切望するのである。

名古屋港對中支輸出品 (昭和十一年度大藏省統計表ヨリ一萬圓以上ノモノ)

麥酒	一六、〇七圓
晒粉	二八、三五〇
其ノ他ノ化學藥品	三〇、二三〇
毛糸	五六一、五〇七
綿布	五二、七三二
毛織物	四八、四六四
其ノ他ノ鑛物及同製品	一六、〇五八

陶磁器	四三、七三圓
硝子及同製品	一一、一〇〇
絶縁電線	二六〇、八八七
時計	三、六九元
樂器	一四、四二三
蓄音器	七四、〇七五
其他ノ學術器	一五、九六一
自轉車	一六、五六八
紡績機	七七、七九九
織布機	三二、三三三
其ノ他ノ機械	一七、六二七
ベニヤ板	二〇一、三三〇
挽材	二六、〇三〇
再輸出品	一三、〇八一

同 中支ヨリ輸入品 (昭和十一年度大藏省統計表ヨリ一萬圓以上ノモノ)

大麥	二六、〇〇八圓
----	---------

小麥	五八、四三四
高粱	五〇、二六六
玉蜀黍	六〇、七六八
小豆	五五、一三五
蠶豆	五三、七六六
豌豆	二七、六二九
胡麻子	五四八、七二四
采子	二六、八四九
其ノ他ノ皮毛骨角齒牙甲殼類	四三、六三三
漆	二五〇、八九〇
植物纖維	七〇、五三六
繭	一四一、三三八
其ノ他ノ故纖維	一〇二、〇六四
藍 縷	四三、八四九
石 炭	五〇、二九五
其ノ他ノ礦物及製品	一一、〇九七
竹	三六、〇〇〇

飼 料	二七〇、五六八
穀	三三五、六七七
油 粕	八四二、四〇三
小包便物	一三、〇三三
再輸人品	二、四三〇

陶磁器

名古屋より上海への將來性ある商品の内二三に就て述べて見れば

上海には其近くに陶磁器生産地として景德鎮あり、九江が其集散地なる故に九江焼の稱あり。我國より上海へ輸出せる陶磁器の最初は此九江焼に對抗する爲に九江焼の模造品、猪口、支那井等を作り相當數量を輸出せり。

然るに其後最初の税率が七・五%より一一・五%に引上げられたる爲め此九江焼との競争出來ざる事となれり、依て當時外國品として最多く輸入されたるチエコスロバキヤ製の湯呑型珈琲茶碗を模して此れと競争して、一擧にしてチエコスロバキヤ品其他外國品の安物を壓倒し、上海市場の優位を占めたり、即輸出品中の主なるものは左の通り

二寸二分湯呑型珈琲茶碗

青銅板クロバー菊型珈琲茶碗

五合乃至二合土瓶

乳入れ單獨もの

石輸入

建築用タイル、外装タイル類

然るに更に税率の引上の結果、輸入品中の最高額を示してゐる二寸二分湯呑型珈琲茶碗、青銅板は遂に上海にて自家製造せしむるに到つた。

即ち技師、機械、陶土、調合濟の藥品を直接瀬戸より輸入して製造工場を設立し、生産能力を擧げた、税率も製品が五割と云ふ高率に反して原料は五分と云ふ低率の爲め遺憾ながら此種製品の日本よりの輸入は殆ど絶の有様となつた。

然し此中支の製造工場も今回の事變の爲に完全に停頓状態に陥り其復活作業に就ては中々困難にして今後は、日本人經營又は日支合辦も有望と思はれる。

然るに戦前の關稅從價の五割課稅も税率改正にて一割程度に引下げ方を當業者は要望して居るが

此程度迄引下げ得らるゝなれば、假令中支の工場が復舊して作業を開始しても日本品の輸入は激増するであらうし、一方高級品も戦前迄は歐米品に伍して一部輸入せられてゐたが、高率關稅と支那人自身の内亂外患にて疲弊の爲め購買力減少し賣行多大とは云ひ難かつたが、事變解決の曉は關稅の引下と共に相當高級品が輸出し得る可能性があるだろう。

要は此の際是非關稅は當業者の望む如く一割に引下けて一般安物は勿論の事、上層階級向として的高级品の輸出に就て更に重大なる關心を以て臨むことが肝要である。

### 自動車、同部分品

何れも輸出國中日本が最高を占めて居る、何分にも黄包車（人力車）が餘にも便利に利用せられてゐるので、上海市中には日本程自動車は利用されぬが、郊外奥地向として相當取引は活潑である。税率は何れも從價の二〇%である。黄包車の製造工場も破壊され當分補給も不充分である旁々リヤーカーの普及でも計れば面白いと思はれる。

自動車部分品は現在は勿論、今後としても相當有望であり、何れも歐米品と日本品丈で充して居る。

### 電氣器具、電球、電線類



電球は支那自國にて相當多數の小工場組織乃至家庭工業組織にて生産し、此れに伍して日本品を主として輸入されて居るが値段の點で仲々難しく、大小を問はず百箇に付G、U、四弗の高率課税は甚しき排日關稅の代表的とも見られる、關稅更改の曉は此點幾分緩和され得るであらう、其他電氣器具類は復興材料として茲當分非常な需要が期待され得る。

支那に於ける電機類の輸入額、發電所、電信電話事業、無線電信電話、各種工業の勃興と共に年々著しく増加しつゝ、ありて最近二ヶ年の輸入額左の如し。

一九三四年	三、六四、八五四	金單位
(上海弗換算)	二四、九五二、〇八弗	
(日本金換算)	二八、二五、二三圓	
内日本ヨリ	四、六四、二三圓	
一九三五年	一三、五七、八〇〇	金單位
(上海弗換算)	三五、二七一、五三弗	
(日本金換算)	三三、八三、三八圓	
内日本ヨリ	七、二〇、四五四圓	

右の如く日本より輸出額は躍進的增加にて、對支輸出品の機械器具類全部にて一九三四年が一千

三百萬圓、一九三五年の二千萬圓に及び、其内電氣機具類が半数に上り居り、本邦電機類の支那市場に於ける前途は洋々たる譯なり、事變前は電燈、電力、電話等殆、英、米、資本の獨占的事業の下に小物を主として拙劣なる賣込方法に終始せるに反し、將來根本的に中支振興會社等の勢力下に現地適應の規格を調査研究し優秀なる製品の宣傳に努力せば幾倍の輸出を見るに至るべし、凡て實際的競争市場に於ては値段よりも品質又は性能に重點を置く事必要なりと信ず。

## 上海に於ける綿毛布

### 余 語 善 之 助

一、昭和十三年四月七日午後八時名古屋驛出發團員と共に視察の途に就き同月十日午後一時目的地たる上海に上陸同地旅館萬歲館に投宿せり  
十一日より各軍主腦部を慰問し且つ團員各自が心斗りの慰問品を贈りたる後調査視察の大體次の如し

上海商工會議所、名古屋商品紹介所及邦人經營の貿易商館等を歴訪し大體の現状を調査したり

英人怡和洋行の上海に經營する公益紡織廠は殆んど毛布専門の工場にして其の規模頗る甚大之を内地に比較せば名古屋市全體を以てするも尙遠く及ばざる所あり戰火の爲め灰燼に版し進出上好機逸すべからざるものありとは出發前聞知せし所なりしが親しく現場に就き調査するに上海は蘇州河を以て英租界と開北との境界を爲し今回の事變に付て英租界に在るものゝ殆んど無事なるに反し開北に在る商館工場等の全部兵燹に罹れるものにして英租界内なる怡和洋行各工場共兵燹の難を免れ居り何れも晝夜兼行業務に従事し居るものゝ如し  
小賣値は日本よりの輸入品は日本の小賣値の倍額に當り上海製に至りては日本の小賣値より低廉なり

大體上海毛布は名古屋毛布と同く價格低廉の品多く關稅が非常に高く綿一キロに付き一圓八錢（事變前の爲替相場にて）それか爲め事變前一キロの毛布最低價凡そ六十錢の品を輸入するとせば運賃諸掛りを加算し一圓八十錢以上となり到底引合はざるも高級綿毛布及毛布等は日本製品多く見受けたり

上海領事館島津氏は關係問題を扱ひ居られ同氏に毛布の排日關稅なる點を申述べたる處同氏も毛布關稅の特に高き事を承知し居られ考慮する旨申居られたり

尙支那人經營なる毛布製造工場十二三在るも規模小さく何れも開北に在りしを以てその多くは事變の爲め灰燼に版し僅かに二三の残れるものたるのみ

FM99

昭和十三年五月二十五日印刷  
昭和十三年五月三十日發行

(非賣品)

名古屋市中種區田代町小川四六番地

編輯兼發行  
兼印刷人

野

尻

啓

藏

名古屋市中區南久屋町三丁目四番地

印刷所

名古屋印刷株式會社

電話中③ 二七七〇番

名古屋市中區廣小路通六丁目三番地(住友ビル)

發行所

愛知縣東亞輸出組合



